《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	情報社会と倫理				
担当者氏名	吉田　健				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○　教養教育-1 国際社会に貢献できる人材育成 ◎　教養教育-2 豊かな人間性の醸成 ○　教養教育-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》
知識基盤社会、情報化社会に生きる我々は、その情報社会を正しく理解する必要がある。そして、その社会で生きるために適切な倫理観を持つ必要がある。
この講義では現代の様々な課題を紹介し、その解決策を考えていくことを通して、情報社会に適した倫理観を醸成する。

《授業の到達目標》
情報社会と倫理は、情報化の進展が生み出す倫理的諸課題とその解決策について考察し、情報に関する幅広い知識と健全かつ積極的な態度を身につけてもらう。

《成績評価の方法》
授業態度・講義中の課題の成果・レポートの成果を元に評価を行う。
レポート40%、講義中の課題30%、授業に取り組む姿勢など平常点30%。

《テキスト》
なし

《参考図書》
授業中に指定する。

《授業時間外学習》
講義では現代社会における様々な事象を題材にするので、普段から情報メディアや情報倫理に関して興味を持ち情報を収集しておくのが望ましい。
また授業に際して事前に指定した映像を視聴することを求める場合がある。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	講義の予定、概要について説明する。
2	倫理とモラル	倫理とモラルという言葉の定義を知る。
3	個人情報	個人情報とは何か、どのように扱うかなどについて学ぶ。
4	情報とプライバシー権	プライバシー権について、とくにその保護について学ぶ。
5	知的財産権と著作権	知的財産権と著作権について具体例をもとに学ぶ。
6	デジタル化の影響と著作権の保護	デジタル化に伴う様々な問題を、著作権の保護を中心に考える。
7	情報社会の発展と情報倫理	情報社会の発展とともに変化する情報倫理について考える。
8	インターネットと生活	インターネットがどのように生活を変えたかを概観する。
9	インターネットとビジネス	インターネットがどのようにビジネスを変化させたかを追いかける。
10	インターネットと教育	インターネットと教育とのかかわりについて概観する。
11	インターネットと電子メール	インターネットの活用事例として、電子メールについて学び、電子メール利用に伴う倫理的課題について考える。
12	携帯端末を利用したコミュニケーション	携帯端末を利用したコミュニケーションとそこに現れる倫理的課題について考える。
13	インターネットとセキュリティ（1）	コンピュータウイルスなど外部からの攻撃とその対応について学ぶ。
14	インターネットとセキュリティ（2）	情報漏洩について考え、その対策を学ぶ。
15	まとめ	学習のまとめを行う。